

國分寺高校野球部

OBOG だより



2022年12月発行



OB 会副会長あいさつ	p1
加藤木監督より	p2
2022 年春・夏・秋大会戦績	p3
新旧キャプテンより	p4
夏大会・秋大会の振り返り	p5
マスターズ甲子園に参加して	p7
マスターズ甲子園戦績	p8
OBOG 野球大会	p10
OBOG メンバー今日この頃	p11
編集後記	p12





国分寺高校野球部 OB 会で副会長を務めております 14 期の友常(現大島高校副校長)と申します。日ごろより現役野球部に経済的支援等を賜り感謝申し上げます。

ここで少し野球部の歴史を紹介させていただきます。我々 14 期は入学時から硬式野球部で、硬式 1 期生と言えます。それ以前の先輩方は軟球野球部であり、12 期の先輩方の代が東京都代表で臨んだ関東大会で見事 3 位の成績を残しました。その結果、学校全体で軟式から硬式に変える機運が高まり、先輩方の熱心な運動もあり、最終的に職員会議で条件付きで変更が決定されたと聞いています。もしかすると、その 2 年前に同じ都立の国立高校が都立高校で初の甲子園出場(1980 年)が大きかったのかもしれませんが。12 期の先輩方は硬式野球部になって初めて臨んだ夏の甲子園予選(西東京大会)では残念ながら初勝利はなりません。13 期の先輩方は秋季大会で公式戦初勝利(2 勝)、春季大会にも出場を果たしたものの、西東京大会では未勝利のままでした。14 期の代になり、秋季大会一次予選に臨みました。くじ運にも恵まれ、一～三回戦と代表決定戦の 4 戦すべてが都立高校で、本大会進出を果たしました(当時の本大会は 16 校のトーナメント)。本大会一回戦で日大鶴ヶ丘高校に 0 対 2 の完封負けを喫しました。

翌年の西東京大会は三回戦で、全国大会初出場初優勝校の桜美林高校と対戦し、3 対 1 で競り勝ったものの、四回戦で錦城高校にコールド負けで引退となりました。その後、後輩たちは西東京大会で、準々決勝(ベスト 8)に今まで 4 度進出しています(最近では 2018 年)。しかし、準決勝の壁は未だ破れていません。

OB 会では、「いつか、必ず甲子園で応援を!!」をスローガンに様々な活動を行っております。ご興味のある OBOG の方々は是非、国分寺高校野球部のホームページ(<https://kokubunjibaseball.com>)閲覧していただき、「お問い合わせ」覧もしくは「メールアドレス登録」欄からメールアドレスを登録してください。更に、「現役生に野球道具を寄付したい!」という OBOG の方々はホームページの「OB 会費のご案内」の欄をご覧いただき、会費納入に積極的にご協力いただければ幸いです。以上宜しくお願い致します。





OBOG の皆様、日頃より野球部の活動にご支援、ご声援をいただき誠にありがとうございます。

今年の新チーム（53&54 期）の代より監督を仰せつかりました 5 期生の加藤木 淳です。国分寺高校には主に 30 代で 11 年間、再任用として復帰して現在 4 年目、都合 15 年間国分寺高校に勤務し、野球部の活動に携わってきました。その間、19 期の西東京大会初シード、20 期の第 1 シードの国土館を破ってのベスト 8 も経験しました。監督は川本信幹先生の後を継いだ 22 期から 29 期の春までと、49-50 期に次いで 3 回目になります。29 期の夏季大会では 28 期の杉本君が監督として 2 度目のベスト 8 を果たしてくれたことは本当に嬉しかったですし、私も頑張ろうというエネルギーももらいまして、2002 年には国分寺の 3 回目のベスト 8 とともに狛江の監督として自身初めてベスト 8 まで進むことができました。その後はベスト 16 までは進むものの準々決勝進出は果たせないまま若手教員に道を譲って半ば引退しておりました。そんな折、国分寺の監督不在という事態に再び監督を引き受け、またまた後任が決まるまでの間と思って 3 度目の監督を引き受けることになった次第です。

新チームでは、スタートしてから 2 ヶ月弱の準備期間でありましたが、秋季大会予選では 2 試合連続でサヨナラ勝ちの接戦をものにして、8 年ぶりの秋季大会本大会出場を果たしました。本大会では初戦で佼成学園と対戦、力負けをしてしまいました。本球場でプラスバンドや観客が大勢入った環境で夏の大会のリハーサルができたこと、シード校との力の差をこの時期に知ることができたのは今後の成長にとって大きな財産になりました。

来年の春季大会、西東京大会で台風の目になるには投攻守走いずれの分野でも一層のレベルアップが必要です。本当に長い間野球をやってきて痛感するのは、今の延長線上から脱却するためには基礎基本に立ち戻ることだということです。オフシーズンには体力面の強化はもちろん、キャッチボールから見直してニュー国分寺高校野球部を作り上げていこうと考えております。個人的なことといえば神宮球場、甲子園球場で試合をするチャンスを再び与えられた訳ですから、もう一踏ん張り老骨に鞭打っていく所存です。今後とも OBOG の皆様のご協力をお願いいたします。



2022年春・夏・秋大会戦績

2022年 春季大会 ～ 本大会1回戦

ブロック予選：初戦 3月21日@日大二高G

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
京華	0	0	0	0	0					0	2
国分寺	4	2	3	8	x					17	15

ブロック予選：代表戦 3月23日@日大二高G

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
富士	0	1	0	0	2	1	0			4	7
国分寺	5	3	0	0	1	3	x			12	10

都本大会：一回戦 4月1日@太田スタジアム

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
日大鶴ヶ丘	1	0	0	2	2	0	0	1	0	6	8
国分寺	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3

2022年 夏季大会 ～ 4回戦

二回戦 7月14日@府中球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
府中	0	0	0	0	0	0	1			1	4
国分寺	2	0	4	3	0	0	x			9	9

三回戦 7月20日@昭島球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
府中西	0	0	0	1	3	0	0	0	0	4	4
国分寺	0	0	0	0	4	0	4	0	x	8	11

四回戦 7月21日@昭島球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
国分寺	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	6
昭和	1	0	1	1	2	0	1	0	x	6	5

2022年 秋季大会 ～ 本大会1回戦

ブロック予選：初戦 9月4日@明星高校G

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	H
啓明学園	1	0	0	0	4	0	1	0	0	0	6	12
国分寺	2	0	0	0	1	0	0	0	3	1x	7	12

ブロック大会：代表戦 二回戦 9月23日@明星高校G

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
足立西	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3	6
国分寺	0	0	1	0	2	0	0	0	1x	4	6

都本大会：一回戦 10月8日@球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R	H
国分寺	0	0	1	0	0					1	6
佼成学園	6	0	3	3	x					12	9

前キャプテンより



52 期キャプテン 船橋透真

自分たちは、7月21日に都立昭和高校に負け西東京ベスト32という結果で引退しました。自分たちの代に変わった時、本気で上を目指し全てにおいて『歴代最強』になると目標を立てました。しかし、秋、春と思うように結果が出せなかったり、コロナで思うように練習が出来なかったり、苦しい時期がありました。それでもミーティングを増やし奮起して、最後のチャンスにかけて全員で必死に練習し、夏を迎えました。比較的恵まれた山を引くことができ、『歴代最強』になることに本気で燃えていました。雨で試合が流れたりもしましたが、気持ちを切らさず一戦一戦臨みました。結果としては4回戦敗退と目標を達成する事は出来ませんが、保護者、OBの方々、吹奏楽部、ダンス部などにも応援に来て頂き、楽しくプレーすることが出来ました。

この2年半、様々な制限だらけでしたが、52期20人全員で楽しく高校野球をやりきることができたと思います。

これからは国分寺高校野球部で学んだ事を活かし、まずは受験を頑張ります。本当にありがとうございました。

新キャプテンより



53 期キャプテン 三神聖矢

52期がベスト32に終わりとても悔しい気持ちを持ち、新チームがスタートしました。新チームの目標は「ベスト8」です。52期までは大人数のチームでありましたが新チームはマネージャーを含め18人と人数の少なさに苦悩することもありましたが、この少なさを生かして効率よく練習しています。秋季大会予選では2試合連続のサヨナラ勝ちを収め、秋の目標であった本大会に出場することが出来ました。しかし、前夏季大会ベスト16の佼成学園に対しコールド負けをし、ベスト8という壁の高さを目の当たりにしました。秋のうちにこういった経験をできたことを糧にして冬を超え、春、夏でベスト8に行けるように練習していきます。応援よろしくお願いします。





夏の選手権大会 [52期]

チーム発足時から「歴代最強」という高い目標を掲げ、日々練習に励んだ52期。春の本戦で日大鶴ヶ丘高校に6-1で負け、奇しくも勝ち上がれば再び対戦できるブロック。「春のリベンジを」と意気込んでいた選手も多くいただろう。

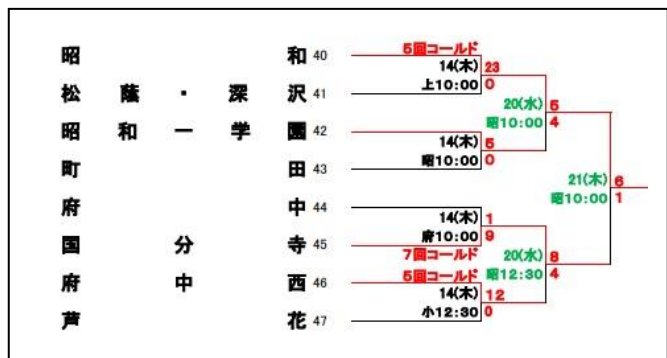
初戦の2回戦府中高校戦。先発原が要所を締め、打線では4番桶本が長打2本、ツーランスクイズを決めた6番山下の4打点の活躍もあり、9-1で7回コールドの好発進。

続く3回戦府中西高校戦。先発坂西が相手の細かい野球と守備の乱れなどもあり踏ん張りきれず、中盤5回まで4点ビハインドの苦しい展開。そして迎えた5回裏。大会直前に足の怪我で戦列を離れていたキャプテン船橋から流れが変わり同点に追い付くと、7回裏に関根の長打もあり再度のビクイニングで逆転に成功した。坂西からマウンドを任されたエース音川も要所を締め8-4で逆転勝ちを収めた。

前試合が雨で2回順延となり、連戦で迎えた4回戦昭和高校戦。エース音川が前日からの連投となったが、相手の小技を巧みに操られ、守備のミスも重なり、序盤から失点を重ねられる嫌な展開。打線も相手先発投手のスライダーを打ち崩せず、あと一本がでない。中盤からマウンドを任された坂西が0点で抑えたものの、再三に亘り出たランナーも、後続にあと1本が続かず1-6での敗戦となった。

エース音川を中心に坂西・原と投手力を武器に作り上げてきたチームであったが、四死球やエラーを重ねた失点はやはり苦しい展開になってしまい、野球の難しさを知る結果となった。

52期は入学当時からコロナ禍のため、練習も学校行事もできずこれまでの当たり前の高校生活とは違う時間を過ごして来たが、部員・マネージャー20名誰一人野球部を辞めることなく、最後まで続けて来られたことに、何か答えがあったのではないかと私は思っている。



秋季大会 [53 期]



53 期は 2 年生 8 名、1 年生 10 名（内マネージャー 2 名）で近年一番部員数が少ないチームとして新チームをスタートさせた。部員数が少ない分、準備に時間がかかるため、毎回マネージャー含め総出でグラウンド作りを行う。しかし考え方を変えればグラウンド作りが早く終われば、一人当たりの練習量が多くなるため、時間の作り方が試されている。よって部員達は今まで以上に「目配り気配り心配り」をし、そして「声をつなぎ素早く行動すること」が必要とされ、今までの期とは違った成長が期待されると感じている。

そんな中始まった秋の新人戦。初戦は啓明学園戦。初回到に 1 点先制されるもキャプテンで 4 番の三神が左中間への 2 ランホームランを打ちすぐさま逆転をしたが、5 回に守備のミスとエース青木が捕まり 4 失点。7 回に追加点を入れられ 3 点ビハインドで迎えた 8 回裏。野口・藤野の長打で同点に追い付き、延長 10 回に 7-6 でサヨナラ勝ち。

約 3 週間空いて迎えたブロック決勝足立西高校戦。初回・3 回・5 回とエラー絡みで失点するものの青木が踏ん張り、それぞれ最小失点で乗り切る。国分寺も 5 回裏に 3 点差を追い付き、同点で迎えた 9 回裏、足立西のショートが難しい打球を処理できずサヨナラ勝ち。1 戦目 2 戦目共に、エース青木の粘りの投球が光ったゲームで、8 年ぶりの本戦出場を決めた。

向かえた本戦。球場には観客が入り、吹奏楽部の好意もありブラスバンド付きでの応援。いつもと違う雰囲気であった。エース青木は初回から制球とジャッジにも苦しみ、3 四球と 3 本の長単打で 6 点失点を与え阿部にマウンドを譲った。その後マウンドを託された阿部は何とか追加点をあげずに凌いだものの、3 回、4 回に佼成学園打線に捕まり計 12 失点。国分寺打線はキャッチャー佃の 3 塁打とセンター唐亀のタイムリーによる 1 点にとどまり、1-12 の 5 回コールドで完敗であった。

53 期が目標として掲げる「ベスト 8」に行くためには、大きな差を感じた試合であったと共に、早くにいい経験をしたと考えている。しかしながら、強豪校に比べ圧倒的に見劣りする体格はどうかしなければならぬ。技術的向上も必要であるが、まずは土台となる体作りは、この冬の一番の課題になるかもしれない。

日頃より国分寺高校硬式野球部へのご支援とご声援、感謝申し上げます。

本年夏の選手権大会（52 期）と秋季大会（53 期）につきまして、簡単ではありますが、ご報告をさせていただきます。



外部指導員 25 期 大澤晃弘

マスターズ甲子園に参加して



21 期 大塚晋也

『また純粋に甲子園を目指せる!』初めてマスターズ甲子園に登録すると諸先輩方から聞いた時の嬉しさでした。40歳まで硬式野球をプレーした私にとって一番純粋に野球に打ち込んだのが高校野球でした。2018年から大会参加し手探りの戦いから、今では甲子園に手が届く手応えを感じています。MVPは先輩方がマスターズへの参加を決断し、全ての運営をして下さっているおかげです。全てのOB・OGが一丸となって甲子園出場しましょう!!

29 期 平林弘至

参加のきっかけは、21期大塚先輩と仕事でのつながりからでした。参加メンバーで直接お世話になった方は、加藤木先生、24期永野先輩のお二人で、他にも多くの方に温かく迎え入れていただきました。教え子と再会したり、先輩方と現役のときと違うポジションと一緒にプレーできたりと大切な場所の1つとなりました。また、野球が上手になりたい気持ちが一層強くなりました。このつながりを大切に、参加できたらと思っています。今後も貢献出来るよう頑張ります!

【マスターズ甲子園とは】

全国の高校野球OB/OGが、性別、世代、甲子園出場・非出場、元プロ・アマチュア等のキャリアの壁を超えて出身校別に同窓会チームを結成し、全員共通の憧れであり野球の原点でもあった『甲子園球場』で白球を追いかける夢の舞台を目指そうとするものです。

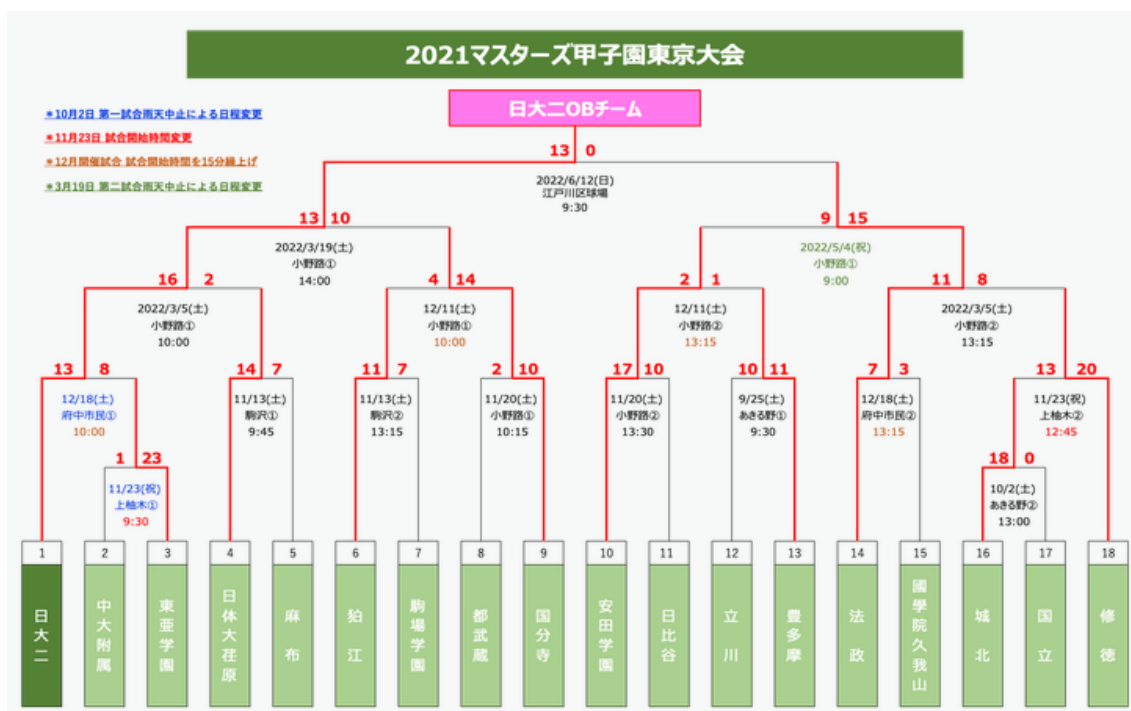


参加メンバーの平均年齢が高齢化しつつあるため、若手の参加を大募集しています。

<https://www.masters-tokyo.com/>



2021年シーズン戦績 ~ 初のベスト4



2021年 マスターズ甲子園 ~ 東京大会

二回戦： 11月20日@小野路球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
都武蔵	0	0	2	0	0	0	0	0		2
国分寺	0	0	3	0	1	0	2	4x		10

準々決勝： 12月11日@小野路球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
国分寺	0	2	3	1	8	0				14
狛江	0	0	0	0	0	4				4

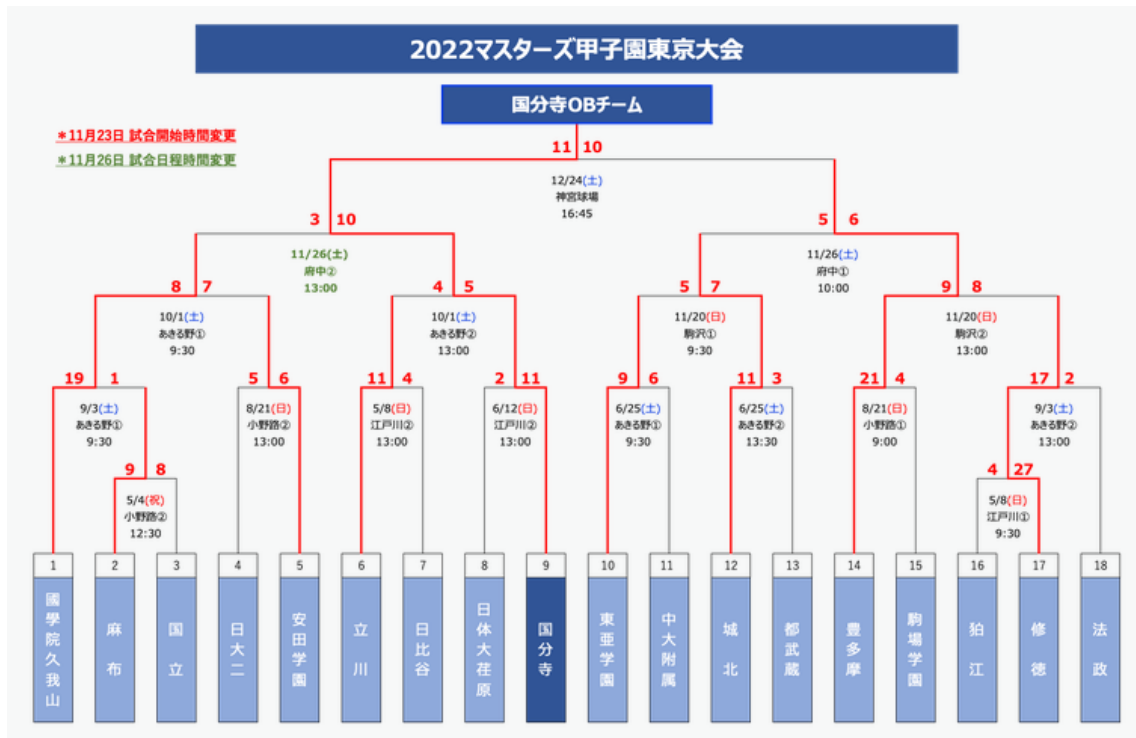
準決勝： 3月19日@小野路球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日大二	3	0	4	4	0	2	0			13
国分寺	0	0	0	1	4	1	4			10



2022年シーズン戦績 ~ 🏆初優勝!

甲子園を懸けた21年覇者:日大二高とのPlayoffは、来春開催決勝戦のサヨナラの瞬間&歓喜を含む、多くの動画・写真はfacebookに
<https://www.facebook.com/groups/327301050726920/>



2022年 マスタース甲子園 ~ 東京大会

二回戦： 6月12日@江戸川球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
日体荏原	0	0	2	0	0					2
国分寺	4	0	4	3	X					11

準々決勝： 10月1日@あきる野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
国分寺	0	0	0	4	0	1	0			5
立川	1	0	0	1	0	2	0			4

準決勝： 11月26日@府中球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
国分寺	0	2	4	0	0	0	0	4		10
國學院久我山	0	1	0	1	0	1	0	0		3

決勝： 12月24日@神宮球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
豊多摩	0	1	4	2	3					10
国分寺	0	3	0	7	1x					11

OBOG 野球大会

今年は 2022 年 8 月 21 日に本校グラウンドにて OBOG 野球大会を開催しました。創部 50 周年の 2018 年、ベスト 8 躍進で活躍した 48 期のエース&四番の 2 人が初めて参加してくれました。

48 期 佐藤隆太郎

OBOG の皆様はじめまして。48 期の佐藤隆太郎と申します。大学に通いながら社会人クラブチームで硬式野球を続けています。

初めて OB 野球に参加させていただきました。私より一回りも二回りも上の OB の皆様が華麗なプレーを連発されており、衝撃を覚え、良い刺激を頂きました。同期の野原との数年ぶりの対決機会も設けていただき、非常に充実した時間を過ごすことができました。

ご縁をいただき 1 ヶ月弱という短い期間でしたが学生コーチとして現役のチームを拝見しました。日々成長を重ねており、その熱量を間近で感じることができました。

我々 48 期はより多くのご支援をいただいた代であることを自覚しており、その感謝を現役世代への貢献でもって示していければと思っています。よろしく願いいたします。



48 期 野原一将

OBOG の皆様お世話になっております。48 期の野原一将と申します。

先日開催された OB 野球大会には初めて参加いたしましたが、先輩方が温かく交流してくださったおかげでとても楽しい時間を過ごすことができました。参加した皆様は年齢にかかわらず高校生に戻ったように全力で野球を楽しんでおられ、野球の素晴らしさを感じるとともに高校生活での楽しい時間も思い出しました。



また、直近のマスターズの試合にも参加させていただきましたが、両日ともに現役のころの試合を応援しに来てくださったというお声掛けをいただき、OBOG の皆様の支えの大きさを実感いたしました。改めてお礼を申し上げるとともに、これからは国分寺高校野球部の発展に貢献することで恩返ししたいと思っています。これからもよろしく願いいたします。

～ OBOG メンバー今日この頃 ～

2022 年の今、思うこと

9 期 井口秀樹 (いのぐち ひでき)



軟式時代の 9 期、井口です。

この文章を書くにあたり、思い立ってチョ〜久しぶりに自転車で学校まで行ってみた。住宅が増えて、ちょっと感覚が違ってたけど、ジワジワ甦ってきた。

国分寺高校ができて 10 年、入ったときの印象は「伝統に縛られてない自由で、多少のことはとがめられない雰囲気。大人扱いしてもらえてるな。」でした。

野球部も、肩までロングでパーマから剃りあげベリーショートまで、髪型自由、性格も、見た目も個性あふれていて、メジャー級でした。

暑くなって、「井口もどう？気持ちいいよ！」と言われスポーツ刈りにしてみんなで外水道でざぶざぶ頭からかぶったりして楽しかった。

私たちの代は、大会実績も誇るものはなく、最後の夏の大会は、1 回戦負けと記憶しています。「あ〜終わっちゃった。」でした。

そんな私たちが、先日、同学年野球部同窓会をやりました。卒業後 40 年余り、集まるのは、実に 8 年ぶりでした。

そこで出てきた話題は、成績のことではなく、私が、

- 他校の対戦の審判をやったとき、インフィールドフライを宣告できずに抗議されて「今のはなしということ」と言う、名言（迷言！？）を吐いてしまったこと。
- 練習中にグラウンドでコンタクト(ハード)を落として、全員で捜索、なんと見つけてもらったこと。

でした。

会うたびにこの 2 点のご指摘があるので、今回もまた出るかなと予想していたのですが、やっぱり出ました。今までは、またかよって感じてましたが、還暦過ぎて今年 61 になった今、「記録より記憶に残る男」として誇っていいなと思えるようになりました。

皆さんも、何でもやっていろいろ思い出作ってください。ジジイになってから、ニヤツとできるネタになりますよ！

ずっと応援してます。





編集後記



昨年に引き続き、OBOG だよりを発行することができました。今年は昨年に比べ、ややデザイン面では見劣りしますが、多くの OBOG に御協力 & 寄稿頂き、内容はレベルアップしているつもりです。寄稿頂いた皆様に、改めて御礼申し上げます。

この OBOG だよりを読まれた方の中で、ご意見・ご感想のある方、ご自身の近況や、最近の国分寺高校の動きで把握されていることなど、次回の OBOG だよりに、ぜひ投稿されたいという方、OBOG だよりのデザイン改良のため一肌脱いでいただける方、ぜひご連絡下さい。OBOG メンバーの方々の積極的なご参加を期待しております。

ご協力頂ける OBOG は、是非とも、事務局まで連絡を！

kokubunjibaseball@gmail.com

最後に、月並みではありますが、OB 会は会員の親睦は勿論のこと、野球部活動への金銭的バックアップサポートを主な目的としています。会費の納入はいつでも受付けておりますので、ぜひご協力下さい。

<年会費のお知らせ>

- 社会人 一口 2,000 円
- 大学生 一口 1,000 円

※金額の上限はございません。ご支援頂ける範囲で、何口でもお願いします。

会費納入は、いつでも結構ですが、夏の甲子園予選と本大会・秋季都大会のある 7-9 月を毎年納入推奨期間としております。

<お振込み先のご案内>

※振込みの際、期数・お名前の記載を必ずお願いします。

三井住友銀行

店名： 神保町支店
 店番： 001
 預金種目： 普通預金
 口座番号： 2214471
 口座名義： 都立国分寺高等学校
 野球部 OB 会

ゆうちょ銀行

■ ゆうちょ銀行から振込みの場合
 記号： 10130
 番号： 70089781
 口座名義： 都立国分寺高等学校野球部 OB 会

■ 他金融機関から振込みの場合

店名： 0一八
 店番： 018
 預金種目： 普通預金
 口座番号： 7008978
 口座名義： 都立国分寺高等学校野球部 OB 会

編集担当： 山崎（16 期）

編集補佐： 仁木（13 期）

<https://kokubunjibaseball.com>



現役 Instagram より
https://www.instagram.com/kokubunji_baseball/